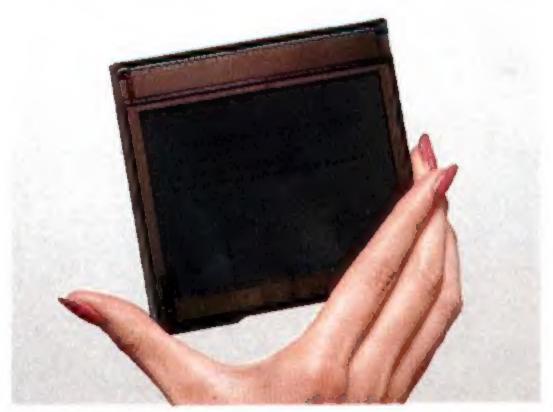


フジインスタント写真"フォトラマ" きれいに写すための 撮影ガイド

FUJI INSTANT CAMERA - 10



フィルムパックは、 両端を持って。



フィルムパックを包装から取り出す時や、カ メラに装てんする時には、必ず両端を持つよ うにしてください。フィルムパックの黒色のフ イルムカバーに圧力を加えると、プリントにム ラが出ることがあります。

フィルムの装てんは、 ∠ ラインに合わせて正確に。



カメラの裏ブタを開けて、カメラのオレンジ 色の線にフィルムパックのオレンジ色の線 を合わせて、正しく装てんしてください。

シャッターを押したその場で、美しい写真が楽しめるのが、フジインスタント写真「フォトラマ」。 楽しいインスタント写真をより美しく写すための、大切な撮影のポイントを紹介いたします。 いつもきれいな写真を写すために、このガイドブックをあなたのそばに置いて、ご活用ください。

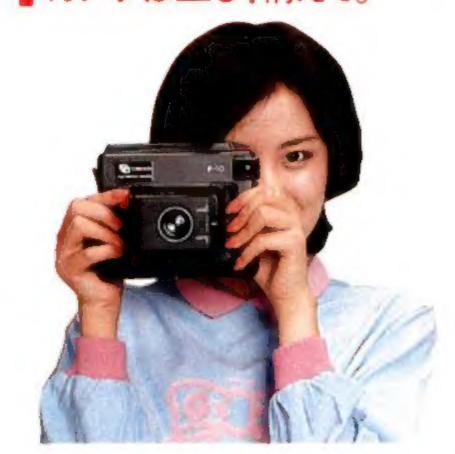
きれいに写すために、操作は正しく行いましょう。

● シャッターを押して、 ■黒色のフィルムカバーを取り出す。



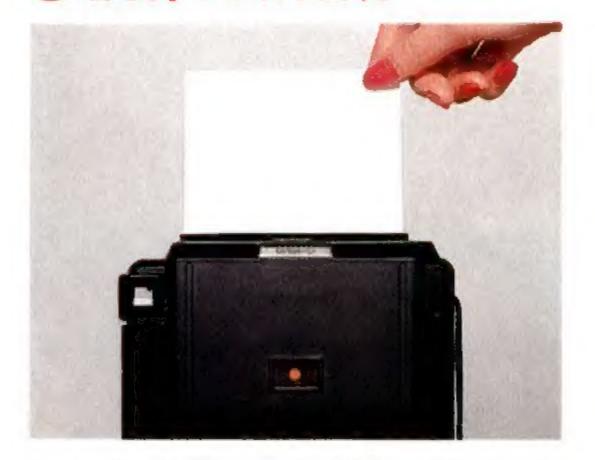
シャッターを押すと、黒色のフィルムカバー が出てきます。これで撮影準備完了です。 なお、このカバーは写真立ての脚としても使 えますので、残しておくと便利です。

★ さあ、距離を合わせて撮影開始。 サカメラは正しく構えて。



さあ、撮影開始です。まず距離合わせを正確 にして。カメラは水平に、正しい姿勢で構えて ください。あとはシャッターを押すだけです。

カメラから出てきたプリントは、 端を持って取り出す。



シャッターを押し、離すと同時にプリントは自 動的に送り出されます。カメラからプリントを 取り出す時は、端を持ってください。

フィルムの使用は、お早目に。

カメラに装てんしたフィルムは、 できるだけ早目に撮るようにして ください。

また、未使用のフィルムも 有効 期限内に使うことをお忘れなく。



フィルムの入ったカメラは、 涼しく、乾燥した場所に。

カメラにフィルムパックを入れたら、 涼しく、乾燥した場所に保管 してください。また、砂浜や 閉めきった車の中など、カメ ラを温度の高い所へ置いて おくと、故障の原因となる ことがあります。

美しいプリントは、 "30秒間の温度"が大切です。

より美しいプリントは、カメラからフィルムが 送り出された後の"30科間の温度"がとても大 切です。適温は、15℃~40℃の間です。 特に温度の低い所では、カメラから出てき たプリントをただちにポケットに入れるなど して暖めてください。また、ストーブの近くな ど極端に温度の高い所はさけてください。

さあ、フジインスタント写真「フォトラマ」 楽しさをおおいに満喫してください。

フジ インスタント写真「フォトラマ」は、あなた が美しいものに出会った瞬間に、撮りたい場面 に出会った時に、すぐに写して、その場で楽しむ ことができます。家族のはじける笑顔を、楽しい 行事の数々を、みんなで一緒に"写して!見て!" 楽しみましょう。

アイデア次第で、あなたのフジインスタント写 真「フォトラマ」の世界は、大きく大きくふくらむ







ならではの

想い出に、ひと言書き添えて。



プリントの余白のメモ欄には、文字を書き入 れることができます。えんぴつ、ボールペン、 サインペンなど何でも使えます。ひと工夫して 楽しく生かしてください。





空になったフィルムパックは素敵な写真 立てに早変り。黒色のフィルムカバーを 溝の所で折り、切り離してフィルムバック の裏側に差し込むだけで簡単に出来上 がります。直射日光の当たらない場所に 飾ってください。



プリントをフィルムバックに入れる時、黒 色の出口テーブをはがし、金属バネを押 しながら1枚ずつ入れてください。10枚ま で入れることができます。また、撮影直後 のプリントを入れると液もれを起し画面 を黒く汚すことがあります。1日位たって から入れるとよいでしょう。



太陽の光を上手に使って、イキノキとした表情をとらえましょう。

写したその場で、美しい写真が楽しめるだけ に、写す時はよりイキイキとした、表情が豊か な写真となるように工夫したいものですね。 インスタント写真は、写す時の"ちょっとした 工夫"で、見ちがえるほど美しい写真を楽しむ ことができます。





被写体に、光が均一にあたるように。



屋根や樹木などの影が画面の中に入っ てくると、暗い感じの写真になってしま います。

イキイキした表情はできるだけアップで。



遠くから写すと、このようにおとなしい写 真になって、特に人物の表情が伝わっ てきません。

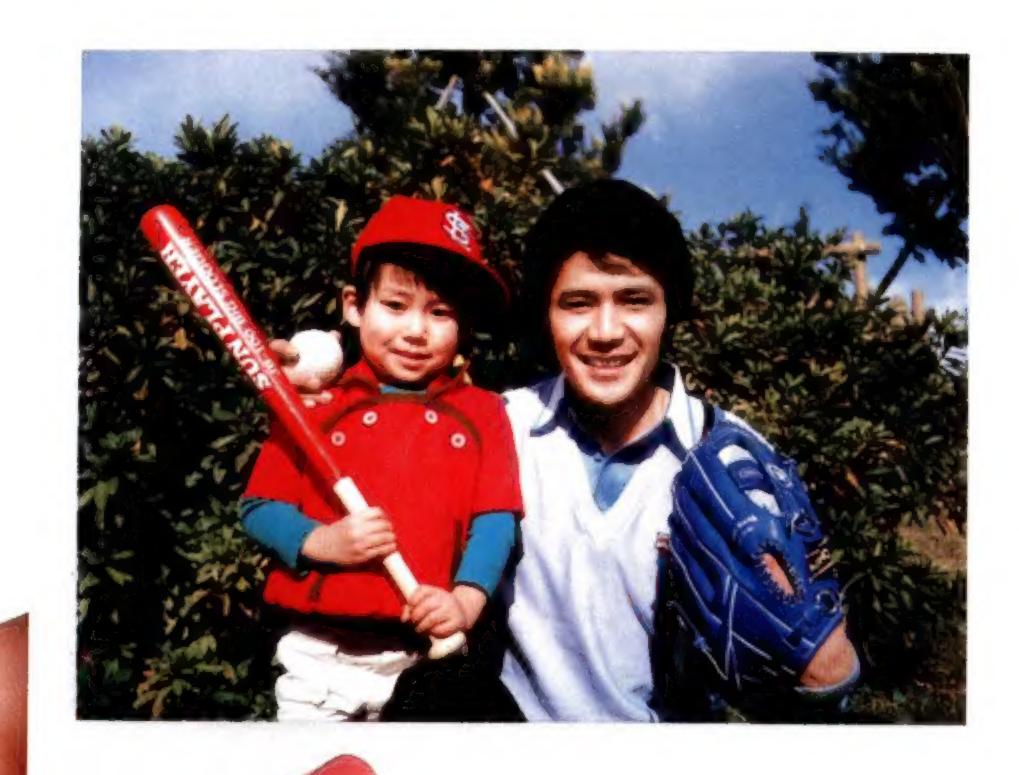


撮影条件に合わせて、濃淡コントロールを上手に使いましょう。

フジ インスタントカメラ「フォトラマ」は、露出 合わせのいらないEE機構を採り入れています。 ほとんどの場合は、ピントを合わせて、シャッ ターを押すだけでOKです。

そのうえ、より美しい写真がいつでも写せるよ うに、プリントの濃淡をコントロールするツマ ミもついています。

撮影条件に合わせて、上手に使い 分けてください。



※作例は、フジ インスタントカラーフ・ルムFI-10で撮影

バックが被写体より極端に暗い時は、 ツマミを「DARKEN・濃」に。



暗いバックで明るい被写体をそのまま 写すと、被写体が白っぽく写ることがあ ります。

プリントが白っぽい時にも…

プリントが全体的に白っぽく仕上がる時にも、ツマミを 「DARKEN・濃」にセットして写してください。

バックが被写体より明るい時は、 ツマミを「LIGHTEN・淡」に。



写すと、被写体が暗い感じで写ることが あります。

プリントが暗い感じの時も…

プリントが全体的に濃いめに、暗い感じで仕上がる時にも、ツ マミを「LIGHTEN・淡」にセットして写してください。



明るい所でも、ストロボを使ってより美しく写しましょう。

ストロボは暗い所で使うだけでなく、昼間でもどんどんストロボ撮影を楽しみましょう。専用のフジインスタントストロボS(別売)をお使いください。

ストロボを補助光として利用すれば、もっともっと美しい写真を楽しむことができます。





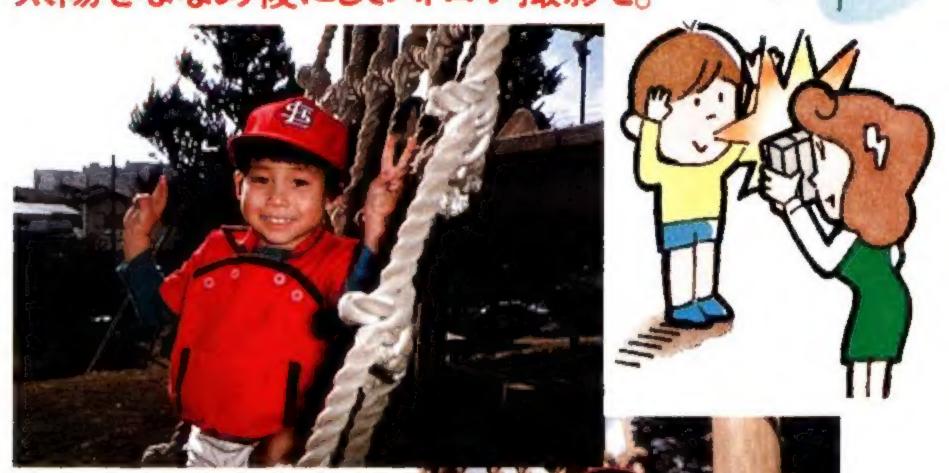
※作例は、フジ インスタントカラーフィルムFI-10で撮影。

木陰や逆光などの時には、日中でも気軽にストロボ撮影を。



木陰にいる人物をそのまま写すと、木のカゲが顔にかかって、きれいな表情で写せません。

太陽がまぶしく感じる時は、太陽をななめ後にしてストロボ撮影を。



写したい人物の顔に太陽の光 が直接あたると、まぶしくて目が 開けられない、というようなこと があります。太陽がななめ後にくる ようにして、ストロボ撮影をすれば、 目はぱっちりと!

そのまま写すと、太陽の光がまぶしすぎ て、不自然な表情に写ってしまいます。



ストロボ発光OKランプの確認をお忘れなく。

ストロボスイッチをONにして、ストロボ発光OKランプが点滅していることを確認してからストロボ撮影をはじめてください。



室内でも、夜間でも、ストロボを上手に使いましょう。

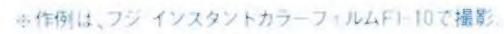
夜間だけとは限らずに、室内撮影の時もどん どんストロボ撮影を楽しみましょう。

少し暗くなってきたなと思ったら、すぐにストロ ボ撮影に切り換えてください。美しい写真を 写すためのコツのひとつです。

ストロボパッ!で、もう24時間すべてがシャッ ターチャンスです。

ストロボ撮影時、濃淡コントロールをする時は、カメ ラ側のコントロールツマミは中央(ノーマル)にし、ス トロボ濃淡コントロールツマミで調節してください。





2人以上を写す時は、 カメラから等距離にならぶように。



2人以上の人物をストロボ撮影する時は、カメラ からそれぞれの人物が同じ距離になるように。光 が均等にあたって、きれいに写せます。



カメラからの距離がかわってくると、ス トロボの光が均等にあたらず、遠くにい る人はこのように暗く写ってしまいます。

光を強く反射させるものには、 写す角度をひと工夫して。



バックに鏡やガラスなど、光を反射させるものが ある時は、少し斜めから写すなど、反射光が直接 カメラに入らないようにしましょう。



ま正面から写すと、ストロボの光が反射 して、こんな写真になってしまいます。

カメラをタテにして写す時は、 ストロボの位置を上にして。



カメラをタテにして写す時は、ストロボがカメラの 上側にくるようにしてください。 そうすれば、バックの黒い カゲが目立たず、表情も美 しく写せます。

美しい仕上がりを保つために、こんなことを心がけましょう。

写す構えは正しく。 レンズやストロボに 指がかからないように。 ピント合わせは確実に。シャッターは、静かに、しっかりと。

ストロボ撮影時には、 ストロボ発光OKランプの 点滅の確認を。 カメラからプリントを 取り出す時には、 端の方を持って。



レンズやストロボ発光部に指などが かかったりすると暗く写ってしまいます。 また、EE受光窓に指がかかると淡 く(白っぱく)写ってしまいます。



シャッターを強く押すと手ブレをおこしボケた写真になってしまいます。また、ストロボを使わず暗い所でシャッターを押す時は、三脚を使用して完全にシャッターが切れるまでシャッターボタンから指を離さないようにしましょう。プリントがまっ黒になることがあります。



ストロボが充電されていないうちに シャッターを押すと、ストロボは発光 せず暗い写真になることがあります。 ストロボ発光OKランプが30秒たっ ても点滅しない場合は電池を交換して ください。



送り出されたばかりのプリント面を 指でつまんだりすると、その部分だ け青紫っぽくムラになることがあり ます。

また、折り曲げたりすると細い縞模様になることがあります。

取り出したプリントは、 熱いものの近くに 置かないように。 特に気温の低い所では、 取り出したプリントを すぐに暖めて。

常日頃から カメラはきれいに。 フィルムパックの装てんは 確実に。撮影中の フィルムカウンターチェック もお忘れなく。



カメラから出てきたばかりのプリント を熱い砂の上やコンクリート、ストー ブの近くなどに置くと暗い(青っぽい) 写真になってしまいます。

また、濃淡コントロールのミスによって も暗い写真になることがあります。



気温の低い所では、プリントが淡い (黄っぱい)感じになってしまうことが あります。カメラをあらかじめ室内など の暖い所に置いておくか、またはカ メラから出てきたプリントをただちに ポケットの中などで暖めてください。 屋外だけでなく、室内でも気温の低 い時もありますので気をつけましょう。 また、濃淡コントロールのミスによって も淡い写真になることがあります。



レンズやローラーが汚れていると、 ボケたり、ムラになった写真になっ てしまいます。



装てんが不充分だとフィルムが引っかかり出てこなくなります。その時は、暗い所で一番上のフィルムを外してもう一度装てんしなおしてください。1~2枚空写しをすればあとのフィルムは大丈夫です。また、フィルムがなくなるとプリントは出てきません。フィルムカウンターでフィルムの有無を確認してください。シャッターの押し方が不充分の時にもプリントは出てきません。





インスタント写真は、焼増しや引伸しができな いのでは…と、心配される方がいらっしゃいま す。大丈夫です。美しい仕上がりで定評ある フォトラマプリントで、焼増し、引伸しともに 簡単です。







お近くの写真店で "フォトラマプリント" と、ご用命ください。

フォトラマプリントには、 Lサイズ(89×124mm)・2Lサイズ(127×175mm) の2種類があります。



フジ インスタントカメラには、フジ インスタントカラーフィルムをお使いください。





フジインスタント写真"フォトラマ" きれいに写すための 撮影ガイド

FUJI INSTANT CAMERA



フジ インスタントカメラには、フジ インスタントカラーフィルムをお使いください。

